

7-5

嚥下内視鏡による食事摂取状況の改善

その方にあった安全な食事をみつけていくために

嚥下内視鏡

食事摂取状況の改善

社会福祉法人 浴風会 特別養護老人ホーム第三南陽園

ケアワーカー 松村 多栄子	米須 みゆき 江野 哲史 西村 保秀 影山 光代
東京都杉並区高井戸西1-12-1	歯科医師 菊谷 武 戸原 雄
TEL : 03-3334-2193	E-mail : info-dai3@yokufuukai.or.jp
FAX : 03-3334-2198	URL : http://www.yokufuukai.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人浴風会が平成14年に開設した3番目の特別養護老人ホーム。入所207名、ショートステイ15名。施設理念「利用者の方々が自分らしい生活を送り、自然に笑顔があふれる環境をつくります」のもとでサービスを提供しています。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">嚥下障害のある方に対し、食事形態・量・食事摂取時の姿勢・介助方法などを改善して経口維持を図る。経管栄養の方で、ご本人またはご家族が経口摂取を希望された方に対し、安全な経口移行を試みる。 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <p>〈対象者〉嚥下障害があり、むせ込み等で摂食状態の改善が必要な方。 経管栄養で、経口摂取を希望される方。</p> <p>〈方 法〉ホーム内で嚥下内視鏡検査を実施し、嚥下状態を把握したうえで、歯科医師の指導のもと、多職種協働でカンファレンスを行い、食事形態、姿勢などの改善を検討した。</p> <p>〈手 順〉① 対象者を各フロアから選出。 ② 主治医に確認。 ③ ご本人、ご家族に同意を得る。 ④ 検査実施（月1回） 園で提供している食事形態を各種準備し、現在提供している食事を召し上がっていただき、嚥下内視鏡にて状態を見る。 他の形態の食事を召し上がっていただき、嚥下内視鏡にて状態を見る。 ⑤ 医師を中心に、多職種でカンファレンスを行い、食事形態等を検討する。</p> <p>〈費 用〉医療保険自己負担額 例）1割負担の方は800円</p>	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">経管栄養で、経口摂取を希望された方。<ol style="list-style-type: none">1) 全面的な経口移行は誤嚥リスクが高いため、ご本人がお好きなプリン等をおやつとして召し上がっていただく。2) 嚥下状態が悪く、どの形態の食事でも誤嚥されてしまうため、経口移行は困難である。現在経口摂取しているが嚥下障害が著しい方。<ol style="list-style-type: none">1) 経口摂取は継続できるが、量が多くご本人に疲労が見られるため、ハーフ食(㊤参照)とする。2) 食形態は変えず、食事姿勢をリクライニング車椅子で傾斜をつけ、頭部はクッションで補正する。3) ミキサー食からゼリー食に変更し、1回に召し上がっていただく量を減らす。 <p>いずれの場合も、同席されたご家族は嚥下状態を映像でご覧になり、医師の丁寧な説明を受けて、納得していただけた。</p> <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">月1回の検査のため、ご利用者全員に行うのは困難である。嚥下障害のある方でも、検査に対しご家族の同意を得られない場合がある検査後の再評価（再検査など）体制が不十分である <p>注：1食分の食事を半分量にして濃厚流動食を加え、1食分の栄養を確保する食事。</p>
---	--

【メモ欄】